

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【公開番号】特開2008-3408(P2008-3408A)

【公開日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2006-174415(P2006-174415)

【国際特許分類】

G 03 B 9/02 (2006.01)

G 03 B 9/04 (2006.01)

G 03 B 9/07 (2006.01)

G 03 B 11/00 (2006.01)

【F I】

G 03 B 9/02 B

G 03 B 9/04

G 03 B 9/07 B

G 03 B 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

開口の大きさが変更可能な絞りと、該絞りの開口に対して移動可能なNDフィルタと、該NDフィルタを駆動するアクチュエータと、該アクチュエータを制御するコントローラと、を有する光学機器であって、

前記NDフィルタは、開放絞り開口よりも絞った状態の前記絞りの開口を第1の開口としたとき、前記第1の開口の全体を覆うことが可能な大きさを有する第1の領域を備え、

前記コントローラは、該第1の領域が前記第1の開口に対して退避する第1の位置と、前記第1の領域が前記第1の開口の全体を覆う第2の位置との間で、常に前記NDフィルタを停止することなく移動するよう前記アクチュエータを制御することを特徴とする光学機器。

【請求項2】

前記第1の領域は、透過率が75%以上の領域である請求項1に記載の光学機器。

【請求項3】

前記第1の領域は、第1の部分と、該第1の部分と前記NDフィルタの移動方向に隣り合い且つ透過率が前記第1の部分よりも小さい第2の部分と、を含んでいる請求項1又は2に記載の光学機器。

【請求項4】

前記第1の領域は、透過率が75%以上の第1の部分と、該透過率75%以上の第1の部分と前記NDフィルタの移動方向に隣り合い且つ透過率が75%よりも小さい第2の部分と、を含んでいる請求項1又は2に記載の光学機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】光学機器

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の一側面としての光学機器は、開口の大きさが変更可能な絞りと、該絞りの開口に対して移動可能なNDフィルタと、該NDフィルタを駆動するアクチュエータと、該アクチュエータを制御するコントローラと、を有する。そして、NDフィルタは、開放絞り開口よりも絞った状態での上記絞りの開口を第1の開口としたとき、第1の開口の全体を覆うことが可能な大きさを有する第1の領域を備え、コントローラは、該第1の領域が第1の開口に対して退避する第1の位置と、第1の領域が第1の開口の全体を覆う第2の位置との間で、常に前記NDフィルタを停止することなく移動するようアクチュエータを制御することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】